

質疑回答書

2022年5月13日

参加者各位

町田市長 石阪 丈一

質疑に対し、以下のとおり回答いたします。

<b>【件名】</b> 鶴川図書館運営計画策定及び運営団体結成支援業務委託	
<b>【担当者名】</b> 町田市生涯学習部図書館企画・地域支援係 中川、廣瀬、佐藤	
<b>【電話】</b> 直通 042-728-8220	
質問内容	回答内容
1. 改修計画について 「鶴川図書館運営計画策定及び運営団体結成支援業務委託仕様書」の「第5 業務内容」の「(3)鶴川図書館の軽微な改修計画の設計」として、施設の軽微な改修計画の設計という内容が見込まれておりますが、これについて以下に質問がございます。 1-1. 今年度の業務内容としましては、改修計画の基本設計として位置づけるという認識で宜しいでしょうか？また、この場合、実施設計や改修工事に関しては、具体的な年度の想定はありますでしょうか？	基本設計を想定しています。工事は、2023年度以降を予定しております。
1-2. この実施設計に伴う設計費用、改修計画に伴う工事費用に関わる予算は、次年度以降、別途見込まれていると考えてよろしいでしょうか？この場合、おおよその工事規模の見通しがあれば、お教え頂くことは可能でしょうか？	改修費用は、2023年度以降に見込んでいます。規模は、仕様書の通り軽微なものを想定しています。
1-3. 調査を進めますと、現鶴川図書館が入っているURの建物事態の建て替えといった可能性に関する情報も見受けられますが、今後、改修後にはどれくらいの使用期間を想定されていますでしょうか？	URの計画に拠ります。
2. 既存図面について 現在の鶴川図書館の図面等（平面図、断面図、仕様書など）がありますでしょうか？ある場合は、それら図面データをご提供頂くことは可能でしょうか？	現在の図面等はありません。
3. 現地見学について 実際に現地の鶴川図書館へ伺い、実測調査や写真撮影を行うことは可能でしょうか。	職員立ち合いの下で、行うことは可能です。行う場合は、事前にご相談ください。

<p>4. 業務責任者類似業務実績書に関して、契約書の写しは必要でしょうか。</p>	<p>不要です。</p>
<p>5. 企画書①効果的な市民参加型プログラムについての提案（最大3案）に関して、最大3案とは仕様書記載の3回程度の市民プログラムと同じ意味でしょうか。 それとも、市民参加型プログラム3回程度を1案とみればよいでしょうか。</p>	<p>プログラム1回分相当を1案と想定しています。</p>
<p>6. 企画書の様式に関して、A3版横置きをA4縦置き2枚とカウントし、A3を入れることは可能でしょうか。</p>	<p>可能です。</p>
<p>7. 図書館の対面に書庫がありました。こちらは今後も使用可能ですか。 また、広さはどの程度ありますか。</p>	<p>書庫は当面の間使用できる予定です。 広さは約80m<sup>2</sup>です。</p>
<p>8. 市民巻き込みのための講座やワークショップ、勉強会ほか各種イベントを企画した場合、告知や参加者募集を市の広報などで支援いただけますか？</p>	<p>広報への掲載などは可能です。</p>
<p>9. 想定スケジュールによると、23年度から協働運営の部分導入とありますが、この際の協働運営側の人件費は別途予算がありますか、それとも、今回の契約金額から支払いますか、全くのボランティアで行いますか。</p>	<p>協働運営に関する人件費は、2023年度以降に見込んでいます。</p>
<p>10. 住民主体の運営組織結成へ向けての現段階について 住民主体の運営組織結成にあたり、以下のように、いくつかフェーズがあると思いますが、2022年5月現在、本計画はどのようなフェーズにありますでしょうか？ （フェーズ1） 図書館のあり方について、主要なステークホルダーの間で重要な意見の相違があり、方向性についての合意形成が必要 （フェーズ2） 大きな方向性について概ね合意形成はできているが、運営団体の担い手となる個人やグループが見当たらず、担い手の掘り起こしが必要 （フェーズ3） 運営団体の担い手となる個人やグループが、ある程度目星はついていますが、具体的な場のあり方や運営方法についての協議が必要</p>	<p>現在は、市民協働型の運営に向けて、地域の方々と対話を重ねている段階です。</p>

<p>11. 過去の住民参加ワークショップについて</p> <p>本事業に関連して、過去に住民参加ワークショップが複数回開催されていると思いますが、本年度の事業は、その内容を決定事項として、次の段階（詳細な運用や仕様について詰める）に進めるものという位置付けでしょうか？</p> <p>あるいは、過去のワークショップの内容を踏まえつつ、より幅広いステークホルダーを招き入れ、住民参加の意識をより醸成できるような場を作ることで、より幅広い方向性を視野に入れるという方向性も含まれるでしょうか？</p>	<p>過去に実施したワークショップなどでいただいた意見や、これからの地域との対話を参考として、鶴川図書館運営計画を作成する想定です。</p>
---	--